山都町立潤徳小学校　学校だより

狭霧（さぎり）の朝

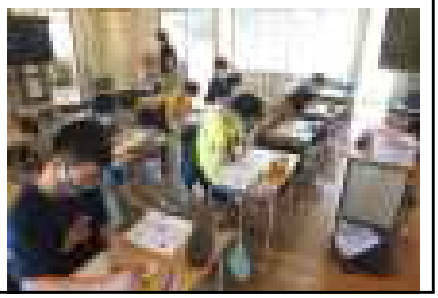
潤徳小HP
QRｺｰﾄﾞ

令和４年６月２４日（金）　第２０号
校　長　池部　聖吾智（みわとも）

６年生の授業に入りました！　～２４・２５日に算数２コマ・国語１コマ～

担任の立山先生が5年生集団宿泊教室引率のため、標記の3時間の授業に入らせてもらいました（「代打オレ」です）。算数の授業では、脳トレーニングから入りました。A～10までのトランプを用意し、出した札の和を頭の中で計算して即座に言うものです（左写真参照）。55で終われば正解です。2日目は、引き算バージョンに挑戦（55からスタートして0で終われば正解）しましたが、スピードと正確さがまだ不十分だと感じました。これは個人で訓練次第で早くできます。家庭でもぜひ取り組んでほしいと思います。

感心したのが、子どもたち自ら授業を進め、本時のめあての設定を行っているところです（左写真参照）。これは、「複式学級」という性質上、1人の教師で同時に2学年進めることは不可能なことから、工夫された活動です。2日目の授業では、ここに少々時間が掛かり過ぎてしまいましたが、現在求められているのが「子どもたちが学びの主人公」である授業です。そのためには、まず子どもたちが「考えたい」「確かめたい」授業であることが必要になってきます。つまり、「複式学級での学びが、今求められている学びそのものにつながっているんだ」ということに授業しながら実感することができました。



さらに、最後の最後で感動しました。立山先生が日頃やられているように、私も子どもたちへ挑戦状を出しました。すると、授業を終わっても全員が挑戦状に立ち向かっていました（右図参照）。「正解者は私のサイン入りノートがもらえる」ことが、励みになったのでしょうか？（笑笑）いえいえ、立山先生・山本先生の日頃の指導の賜物でしょう。

潤徳抄

紙面の都合で写真が小さくて見えづらく恐縮なのだが、これはなんだか分かられるだろうか？▼てっきり私は、マイクと思ったが熱中症の警戒度を測定する黒玉式熱中症計である▼比較的涼しい山都町ではあるが、それでもここ数日は、蒸し暑い日々が続いている。汗をかく練習（体温調節機能の促進）、必要に応じてマスクを外す、水分補給等を徹底させていきたい▼本校HP「学校生活」コーナーでも紹介したが、昨日夕方から5年生集団宿泊教室の様子を見に行ってきた▼今回中島小と連合で実施する目的はいろいろあるのだが、特に全校児童数の少ない両校にとって「交流」は、大きな意味を持っている▼現地に着くと同時に、本校児童はもちろん中島小児童も寄ってきて話しかけてくれた。子どもたちの交流はしっかりできていたようで、それを確認できただけでも行って良かった！